

稲作管理情報 第3

育苗～田植えまでのポイント

- ①ハウスの管理は的確な**水管理**とこまめな**換気**を行い、健苗育成に努めましょう。
- ②高温登熟を回避するため、コシヒカリの田植えは**5月15日**を中心に行いましょう。
- ③栽植密度**60～70株/坪**と植付深度**3cm**の植付により、初期の茎数確保を促しましょう。
- ④**田植同時散布除草剤による薬害**が出ないように、**田面の硬さ**に注意して、**計画的な代かき**作業を行いましょう。

1. 田植えまでの育苗管理

- ①ハウス内の温度が**25℃を超えないように**換気をしましょう。
- ②気象変動が大きいので、**かん水・温度管理**に十分注意しましょう。
- ③**田植え7～10日前**からは、**昼夜ともに換気**しましょう。(強風が予想される場合はビニールを閉じましょう)

2. 田植え時のポイント

(1)代かき～田植えまでの水管理

- ①代かきから田植えまでの日数は**5日以内**を目安に、**長くなりすぎないように**注意しましょう。
- ②**少なめの水で代かき**を行い、稲ワラや雑草をしっかりと鋤込むとともに、ほ場の**均平**に努めましょう。

(2)基肥量

※ 施用量の目安は、平成23年度の『農家のしおりP26～27』を参考にして下さい。

- ①**土壌条件**や**大豆跡田**等に応じた**基肥施用量**を守りましょう。

基肥のやりすぎは過剰生育のもと!!

(3)栽植株数・植付け深さ

- ①**活着の促進**と**初期分けつを早期に確保**するため、適正な植え付けを行いましょう。

初期分けつの確保には

【植付け株数】	【植付け深さ】	【1株本数】
60～70株/坪	3 cm程度	3～4 本/株 にしましょう。

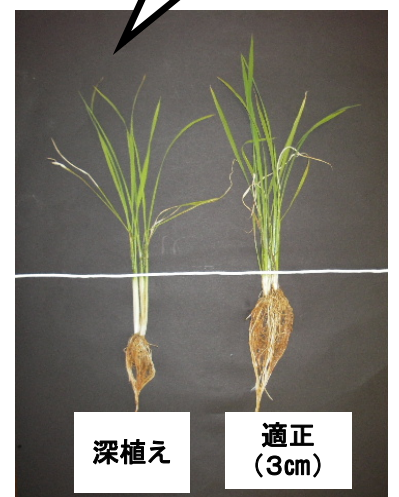


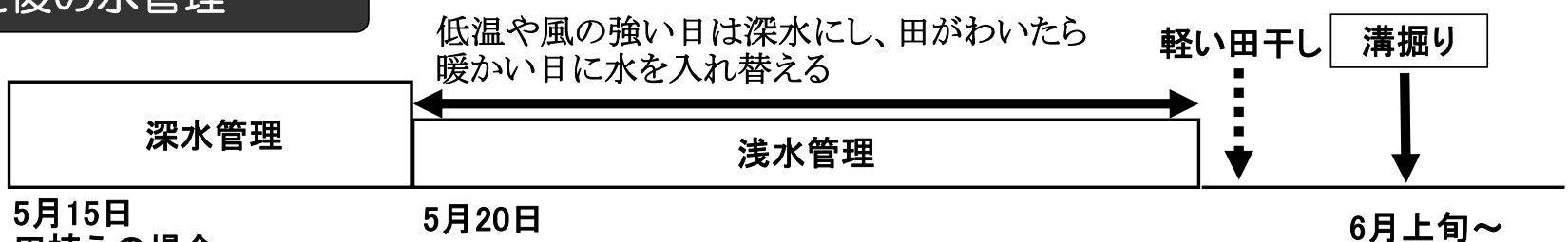
写真 植付け深度による初期成育の違い

※田植同時散布除草剤使用上の注意点

代かきから田植えまでの日数が長くなり、**極端に土の戻りが悪い**ことが予想される場合には、**田植同時の散布を避け**ましょう。

3. 田植え後の水管理

(例)



- ①田植え後は、植え痛みを防ぐため**深水管理**を行い、活着後は**浅水管理**により分けつを促進させましょう。
- ②**中干し**を**田植えの1ヵ月後**から開始するために、**6月上旬**に**溝掘り**を行いましょう。

4. 苗箱施薬

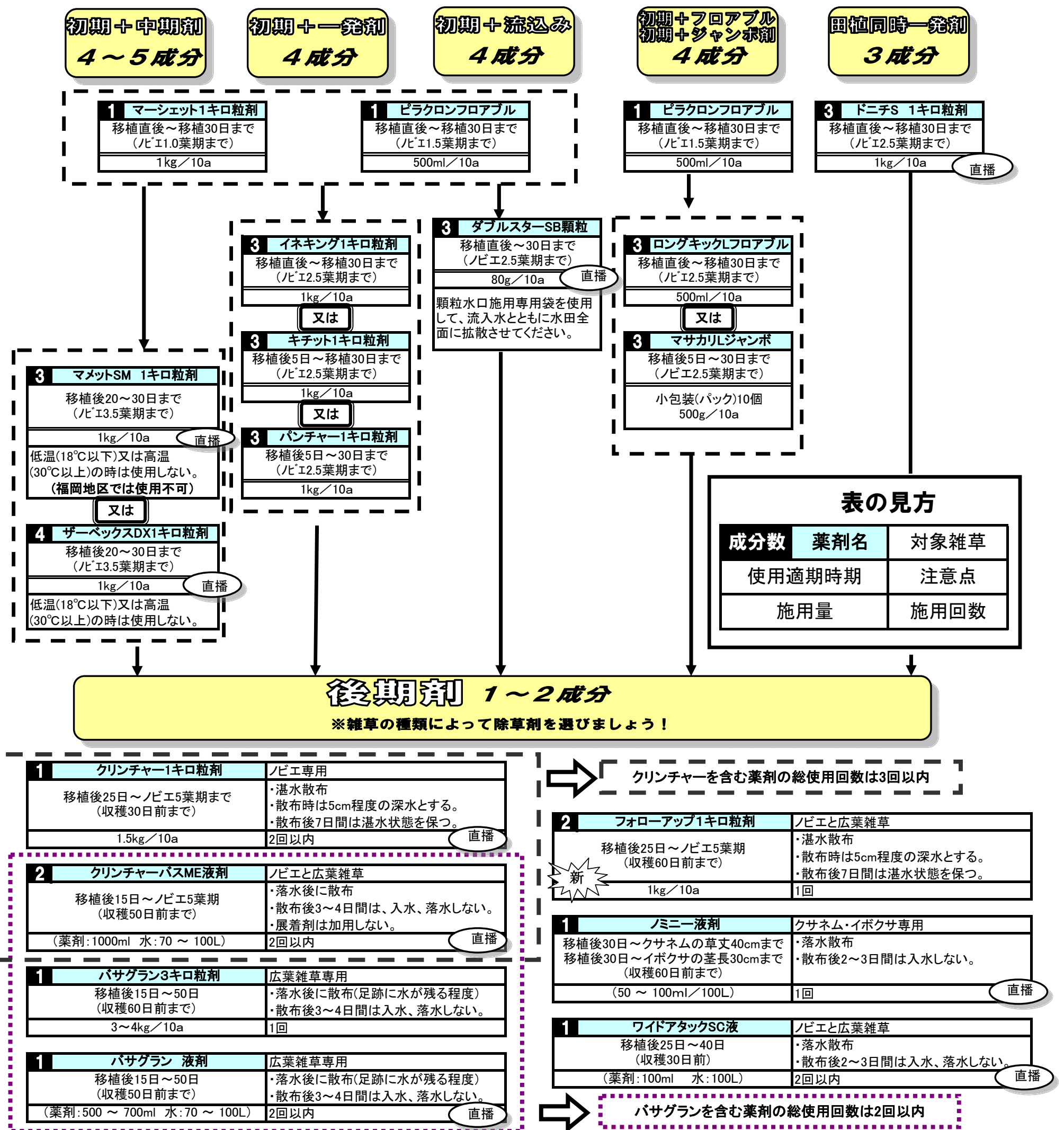
品種	薬剤名	使用量 (g/1箱)	使用時期	成分数
てんたかく・てんこもり	ブイゲットアドマイヤーリンパー粒剤	50	移植2日前～移植当日	3
コシヒカリ・新大正糯	嵐ダントツ箱粒剤	50	移植3日前～移植当日	2

※ てんこもりの苗箱施薬は、「嵐ダントツ箱粒剤」でも可とします。

※ ポジティブリスト制度に伴い**育苗後のハウス内で野菜等を作付け**する場合、苗箱施薬剤は**ハウスから搬出後に施用**して下さい。

5. 除草剤散布

- ①除草剤効果を高めるため、田面を均平にし、畦畔からの漏水防止に努めるとともに、散布後7日間は湛水状態(「落水」や「かけ流し」をしない)を保ち、水田外への流亡を防ぎましょう。
- ②近年、田植同時散布除草剤の使用による薬害が一部で見られます。代かきから田植えまでの日数が長くなると、田面が硬くなり、田植え時に根が露出して薬害が発生する可能性があります。計画的に作業を行い、極端な浅植えや軟弱苗の使用を避けましょう。
- ③除草剤使用の際は、使用基準(散布時期・使用量)を必ず守り、使用後は栽培記録簿等に記帳しましょう。



◆◆◆ 有害鳥獣駆除実施のご案内 ◆◆◆

有害鳥獣駆除隊では、「カラス等による水稻への被害防止」のため、下記の期間依頼地区においてカラス駆除を実施します。

小矢部市 平成23年 4月24日(日) ~ 平成23年 6月19日(日)まで (愛鳥週間 5/10~16は除く)

高岡市福岡町 平成23年 4月13日(水) ~ 平成23年 6月12日(日)まで

春の農作業安全運動展開中!!

運動期間 平成23年 4月1日~5月31日まで
ゆとりある作業計画で適期に作業を実施しましょう。特に、ほ場からの退出は慎重に!!